

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

12

2025

vol.587



今月の
コーヒー

12月のおすすめ

ブルーマウンテンNo.1ブレンド

ジャマイカ



コーヒーの王様、ジャマイカ産ブルーマウンテンNo.1を贅沢に使用

カリブの太陽と豊かな自然、陽気なジャマイカの人々によって育てられているブルーマウンテン。日光と霧に恵まれたこの地で、苦味・酸味・甘味・コクのすべてが調和した「コーヒーの王様」が生まれます。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2025年
12月版



コーヒー相場、再び高騰!?

アメリカの関税政策が市場を揺るがす

10月末、コーヒー相場は一時1ポンド437.95セントまで上昇し、今年2月に記録した史上最高値に迫りました。高騰のきっかけとなったのは、8月にアメリカがブラジルに対して発動した50%の追加関税です。

アメリカは世界最大のコーヒー消費国であり、そのほとんどを輸入に依存しています。輸入量のうち、約3割をブラジル産が占めていることから、アメリカ国内のコーヒー関連企業は当初、国内在庫で対応しようとしていました。

しかし、交渉が難航するなかで時間だけが過ぎ、在庫は大きく減少。現在では底が見える状況にあり、「今後は海外から高値でコーヒーを調達せざるを得なくなる」との見方から、投機的な取引を含む買いが入り、相場上昇につながっていると指摘されています。

さらに10月中旬には、アメリカのコーヒー輸入量の2割を占めるコロンビアに対しても、トランプ大統領が関税の引き上げを表明。これも相場に大きな影響を与えています。

現在のコーヒー相場は、需給バランス以外の要因によって変動しており、アメリカの関税政策に世界中のコーヒー愛飲家が神経を尖らせる日々が続いています。

都市部の新たなサードプレイス

名古屋発の無人カフェが全国へ



いま、名古屋発の無人カフェが全国へと広がっています。

無人カフェとは、店舗にスタッフが常駐せず、すべてセルフで利用できる新しいスタイルのカフェのことです。ドリンクは自動販売機で購入するセルフサービス方式となっており、店内にはWi-Fiと電源が完備されています。

テレワークや勉強、読書、作業、オンライン会議など、さまざまな用途で利用されており、利用している大学生は「普通のカフェだと周りの話し声や音が気になるが、ここは静かで集中できる」と話します。

ドリンクを購入すれば、滞在時間は無制限。一見すると回転率が下がるように思えますが、実際には集中力の続く時間に合わせて自然に切り上げる利用者が多く、平均滞在時間は1~2時間と比較的に短いそうです。

セルフサービスにすることによって人件費を大幅に削減する一方で、低めの単価を多くの客数で支えることで、安定した収益を確保しています。

混雑しがちな繁華街のカフェや、会員登録が必要なコワーキングスペースに代わり、気軽に勉強や作業ができる場所として注目を集める無人カフェ。

いまや都市部の新しい“サードプレイス”として、その存在感を高めています。



抹茶が足りない!?

抹茶の輸出量が過去最高に

近年の世界的な抹茶ブームを背景に、粉末茶(抹茶を含む)の2025年の輸出量は、1月~8月の累計で約5,162トンに達し、8月時点で昨年の年間輸出量の約5,091トンを上回りました。

国内では、抹茶の原料となる「てん茶」の茶葉栽培へと転作する農家が増えています。しかし、生産量だけでなく、てん茶を粉砕する機械も不足しており、供給が追いつかないのが現状です。こうした状況を受け、各社では原料確保に奔走する“抹茶ラッシュ”が起きています。

抹茶を輸出する企業の代表によると、昨夏の猛暑の影響で原料となる茶葉が全国的に2割ほど減少しており、新規の取引は国内外ともに断らざるを得ない状況だといっています。

この空前の抹茶ブームの背景には、コーヒー豆の価格高騰を受けて、抹茶が代替需要として注目されているとの指摘もあります。

帰ってきた！ COFFEE エッセイ もどき

弊社工場長が1997年10月号から2012年10月号まで連載していたエッセイがリニューアルして帰ってきました。

第12回 SCAJ 2025 カッピングセミナー

先日開催された「SCAJ 2025」を視察した際、商社主催のカッピングセミナーが開かれていたため、参加してきました。

一般的なカッピングでは、複数の生産国のコーヒーを飲み比べることが多いのですが、今回のセミナーはブラジルのイパネマ農園に焦点を当てたカッピングでした。



イパネマ農園は、ブラジル・ミナスジェライス州にある大規模な農園で、その面積は東京の山手線の内側ほどもあります。敷地は3つの生産ユニットに分かれており、CCS News7月号の「今月のコーヒー」でもお届けした「イパネマ農園 プレミアクリュ」は、そのうちのひとつであるリオ・ヴェルデ農園で栽培されたトップスペシャルティコーヒーです。

今回はセミナーということで、珍しい品種や個性がはっきりした風味のもの。トップスペシャルティ(プレミアクリュ)に絞ってカッピングが行われました。

初めて口にしたARARA種は柑橘系のフルーツを思わせる明るい酸味が特徴的で、PARAISO種はベルベットのように滑らかな口当たりが印象的でした。

中でもプレミアクリュは、カップ・オブ・エクセレンス出品予定のトップスペシャルティにふさわしく、ラベンダーのような華やかな香りと、イチジクを思わせる果実のような甘みが見事に調和。透明感のある長い余韻が続き、まさに心に残る一杯でした。

ブラジルコーヒーの奥深さと、個性の豊かさを改めて実感できたセミナーでした。

CCSがお届けする今月のニュース

珈琲博覧日に出店

11月3日、ヒサヤオオドリパーク・シバフヒロバにて「珈琲博覧日」が開催され、私たちシーシーエスコーヒーも出店しました。珈琲博覧日は、「コーヒーの多様性」をテーマに、消費者と自家焙煎店、カフェをつなぐイベントです。今年も会話や飲み比べを通して、新たな交流が生まれました。



4回目の開催となる今年は、来場者数が過去最高を記録し、特に愛知県外から訪れるお客様の姿が目立ちました。全国のコーヒー愛飲家にとって、いまや見逃せないイベントへと成長していることを実感しました。私たちは「有機ペルー」と、今話題の「インフューズドコーヒー」2種類を販売しました。インフューズドコーヒーは、ピーチとワイン酵母を使用した華やかな一杯と、ストロベリーをふんだんに使った果実感あふれる一杯をご用意。ストロベリーの豊かな香りを活かしつつ飲みやすく仕上げるため、コロンビア産の豆とバランスよくブレンドしました。ご案内しながら提供すると、多くのお客様が芸人さんなどの驚きのリアクションを見せてくださり、その様子にこちらも思わず笑顔になりました。

お気に入りの一杯を見つけたり、コーヒーを通じて街や人とつながったりと、まさにコーヒー尽くしの心温まる一日となりました。

「地方銀行フードセレクション2025」に出展

11月13日～14日に東京ビッグサイトで開催された「地方銀行フードセレクション2025」に出展いたしました。来場者数は2日間で約12,000名と、昨年より約2,000名ほど増加し、多くの方に足を運んでいただきました。

今回、私たちはオリジナルのワンドリップコーヒーやアイスコーヒーをご紹介しますながら、皆さまと交流させていただきました。



毎年多い商社・小売など流通関係の方々に加え、今年はメーカーの方のご来場も特に目立ち、関心の広がりを感じました。

各社の出展商品の「見せ方」は年々磨きがかかり、パッケージデザインの洗練度や、ブースのクオリティの高さに驚かされる場面が多くありました。担当の方にお話を伺うと、そうした工夫の背景にはAIを活用した取り組みが増えていることがわかりました。

AIをうまく活用しながら、これまで私たちが積み重ねてきた知識と経験も活かし、コーヒーを愛する皆さまの毎日がより豊かになるよう、これからも努めていきたいと感じた2日間でした。

恒例！お正月限定ドリップコーヒー＆珈琲チョコ

ハロウィン、クリスマスに続き、第3弾！

お正月用の「限定ドリップコーヒー」「珈琲チョコ」のご案内。限定ドリップにはお正月の象徴、お正月飾をモチーフにした可愛いデザイン「ニューイヤーブレンド」をご用意しました。珈琲チョコのデザインも限定ドリップと合わせたポップなデザインです。

年末年始のお店のにぎわいを演出する商材にご活用ください。



「お正月限定ドリップコーヒー」
1セット(6杯分)～
※デザインは1種類



「珈琲チョコ」1袋(100g)×5袋～
※お取り扱いのお客様には、お正月用シール1シート(12枚)をご用意しています。

第9回 直営店ディスプレイコンテスト



秋の恒例となった直営店ディスプレイコンテストを、今年も9月から10月にかけて実施しました。このコンテストは、コーヒー豆の需要が高まる秋～冬に合わせて、店頭を綺麗に・華やかに飾り、集客につなげることを目的としています。時期的にハロウィンということもあり、どのお店もハロウィンをテーマに、随所に創意工夫が感じられる装飾が印象的でした。数ある店舗の中、今回の優勝は「ボルサ アズパーク店」！堂々の5連覇達成となりました。ハロウィンをテーマにした凝った装飾と、売りたい商品のアピールとのバランスが良く、全体の完成度の高さが評価されました。2位は従来のディスプレイを思い切って大幅に変更した「ボルサ桑名店」、3位はバランスの取れた上品な店頭装飾が印象的だった「プロスペール安城南店」という結果となりました。

ディスプレイの効果もあり、物販の売り上げは着実に伸びています。店内・レジ横の季節感の演出、集客に繋げる商品陳列の参考になれば幸いです。

猫の日にぴったり！「ニャンドリップ」新登場

2月22日は“にゃん・にゃん・にゃん”の語呂でおなじみの「猫の日」。

この日に合わせて、猫好きにもコーヒー好きにも楽しんでいただけるドリップバッグ「ニャンドリップ」を発売しました。

パッケージには個性豊かな猫たちを描いた可愛いデザインを採用。味わいは2種類のブレンドをご用意しました。



🐾 はにややかブレンド 🐾

華やかな香りとすっきりとした味わいで、心弾むひとときを演出します。

🐾 にゃんびりブレンド 🐾

甘い香りとちょうど良いバランスで、一息つく時間にぴったりの味わいです。

イラストは、絵本作家・イラストレーターとして活躍しているhibinoeekakiさんが担当。それぞれ3種類、合計6種類の猫パッケージをお楽しみいただけます。

さらに、猫耳の形が可愛い専用箱もご用意。ちょっとしたギフトやプレゼントにも最適です。「ニャンドリップ」で過ごすひとときが、あなたの日常に小さな癒しと笑顔をお届けします。

コーヒーインストラクター3級検定 1月開催のご案内

2026年に新しく何かを始めたいと考えているあなた。

1年の始まりとともに、新鮮な気持ちでコーヒーについて学び、コーヒーの世界に一步踏み込んでみませんか？

コーヒーの正しい知識を深めることで、ご自身やご家族、お友達とのコーヒータイムがより楽しく、充実したものになること間違いなしです。

開催概要

日 時：2026年1月17日（土）10時～12時30分

場 所：本社3階会議室

募集人数：12名

参加費用：3,500円（当日、現金またはPayPayでお支払いください）

※講習料・認定証交付代1,500円（税込）を含む

●受講後、3級認定証をお渡しします。

3級検定の講義後、工場見学、コーヒー飲み比べ（カップリング）を予定しています。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

新メニューのアイデアにどうぞ！ 直営店のイチオシメニュー

栗の香ばしさとやさしい甘みが
口いっぱいに広がるご褒美パフェ

モンブラン パフェ

¥650（税込）

詳しくは営業担当へお問い合わせください。



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

来月の
コーヒー

サフラノヴァ

ブラジル



年に一度のお楽しみ

世界第一位のコーヒー生産量を誇るブラジルでは、コーヒーは通常5月～8月に収穫され、船積みは9月頃から行われます。その初積みのコーヒーはポルトガル語で「サフラノヴァ」(ニュークロップの意)と呼ばれています。今年のサフラノヴァは、高品質なコーヒーを産出するミナスジェライス州セラード地区の農園から、収穫したばかりの新豆を船積。今回は本商品のために新豆の中でも高品質なロットを選定。フレッシュながらも安定したカップを実現しています。新豆らしいフルーティーな風味と、芳醇で柔らかな甘味が感じられます。年に一度のお楽しみコーヒーです。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。

Cafe
Bon Voyage

ボン・ボヤージュ

コーヒー新時代を目指して -72-

現・東ティモール共和国は、私が訪れた1975年当時は‘ポルトガル領ティモール’と呼ばれており、200年にわたって植民地としてポルトガルの支配下にあった。人口は約60万人、国土の面積は四国ほどの広さで、コーヒーの年間生産量は約5,000トンであった。

この島には、かつて約2万人の日本軍が3年にわたり占領していた歴史もあり、海岸には当時の激戦を物語るように、旧日本軍の水陸艇などの残骸が放置されていた。

私は首都・ディリのホテルに宿泊したのち、今回の取引相手の会社を訪ね、先方の社長と

輸出部長との面談に臨んだ。

この面談では、日本におけるコーヒーの商況を説明し、条件が合えばぜひ取り引きをしたいと伝えた。そのうえで、実際のコーヒー農園やそれに付随する精製施設を見学したい旨を伝えたところ、先方も快く了承してくれた。

標高1,500mの山中にある農園と施設を、明日ジープで案内してくれることになり、‘悪路なのでお尻が痛くなることは覚悟をしておくように’と笑いながらアドバイスを受けた。私も了承し、‘アテマニャン(また明日)’と挨拶してその場を後にした。

(会長 服部卓也)

編集長の
独り言

先日、手持ちのデバイスを整理していたところ、以前使っていたモバイルルーターが出てきました。モニターには「3G/LTE」と表示されており、まだ一応使えるようだったので残しておくことにしました。しかし「3Gってまだ使えるのかな？」と気になって調べてみると、現在利用できるのはドコモのみで、来年3月にはサービスが終了するとのこと。いよいよガラケーも完全に姿を消してしまう時代が来たようです…。